

交通ご案内

電車ご利用
JR五日市線「武蔵五日市駅」下車。
藤倉行きバスにて終点「藤倉」下車。
バス停より徒歩。

車ご利用
■駐車場【5台収容】
JR五日市線「武蔵五日市駅」より桧原街道を
檜原村方面へ。「橋橋」交差点を右折。
藤倉バス停より村道総角沢線にてモノレール
駅駐車場へ。約20km

利用日時
■開館日・休館日
夏期間 4月1日～10月31日
10時～16時
冬期間 11月1日～3月31日
10時～15時
毎週火曜日(休祝日の場合は翌日)及び年末年始
(冬季期間は、積雪等により臨時休館となること
がありますので、ご確認のうえご来館ください。)

**モノレール
利用方法**
■運行時間
10時～14時(冬期間は13時まで)
■乗員定員
5名まで(但し総重量おおよそ500kg以下とさ
せていただきます)

■所要時間
上り15分 下り10分
■予約方法
事前予約もしくは当日連絡で乗車可能です。
(事前予約が優先となります。)
1名から乗車可能です。
■予約連絡先
小林家住宅管理棟
Tel.090-5543-0750
受付時間 開館日の9:30～16:00
※冬期間は15:00



檜原村の地名は独特。
これを覚えたら、あなたも
檜原通です!

神戸 かのと
笛吹 うずしき
人里 へんぼり
事貫 ことずら

つづじ公園

小林家住宅

モノレール
←上り15分
→下り10分

P 小林家住宅専用
駐車場【5台収容】
総角沢モノレール駅

山道 **A** 徒歩 0.75km

山道 **B** 徒歩 1.3km

山道 **C** 徒歩 1.4km

村道総角沢線

行き止まり 行春日神社

徒歩 0.45km
この先行き止まり

藤倉バス停
小林家住宅
案内板あり

あきる野市方面→

— 車道
- - - 山道
+++++ モノレール
男女 トイレ

■モノレールご利用について
運行時間 10時～14時(冬期間は13時まで)
乗員定員 5名まで(但し総重量おおよそ500kg以下とさせていただきます)
予約方法 事前予約もしくは当日連絡で乗車可能です。(事前予約が優先となります。)
1名から乗車可能です。
予約連絡先 小林家住宅管理棟
Tel.090-5543-0750
受付時間 開館日の9:30～16:00
※冬期間は15:00

至奥多摩
奥多摩周遊道路
総角沢モノレール駅
藤倉バス停
春日神社
三蔵の滝
夢の滝
九頭龍の滝
数馬
温泉センター
数馬の滝
事貫
西吹
人里
南秋川渓谷
神戸
郷土資料館
不動の滝
橋橋交差点
檜原村交流センター
檜原村観光協会
中山の滝
下元郷
至あきる野市

モノレール乗り場

モノレール軌道内風景

車

Bルートをご利用の方はこの階段をご利用ください。

小林家住宅

東京都

八王子 中央道
東名道
関越道
圏央道
羽田空港

自然と共生

山岳民家の歴史にふれる

重要文化財

小林家住宅

見学のご案内

見学期間及び時間

[夏期間] 4月1日～10月31日
10時～16時

[冬期間] 11月1日～3月31日
10時～15時

休館日

毎週火曜日(休祝日の場合は翌日)及び年末年始
(冬季期間は、積雪等により臨時休館となること
がありますので、ご確認のうえご来館ください。)

設備

重要文化財小林家住宅主屋、管理棟、トイレ棟等

入館無料

小林家住宅所在地
東京都西多摩郡檜原村4994番地
Tel. 090-5543-0750

お問い合わせ
檜原村教育委員会 教育課社会教育係
Tel. 042-598-1011(内226)
<http://www.vill.hinohara.tokyo.jp>

東京都西多摩郡檜原村

自然との共生、山岳民家の暮らしを偲ぶ、小林家住宅 (重要文化財)

重要文化財 小林家住宅

重要文化財小林家住宅は、東京都西部の山岳地域に位置し、陣馬尾根と呼ばれる尾根筋上、標高約750mの位置に建っています。檜原村では、古くから炭焼きを行っており、当時小林家は木炭の作業や運搬に尾根道利用などの周辺環境には適していた場所と考えられ、自然と共生しながら暮らしていた人々の生活をしのぶことができます。昭和53年1月に重要文化財に指定され、平成20年2月に檜原村へ名義変更となり、平成23年12月～平成27年3月までの間、小林家住宅保存修理事業が行われました。



修理前の外観

修理前の主屋

小林家住宅がここに建っている理由

檜原村は、面積の大部分が山岳地帯で、村の中央を東西に走る浅間(せんげん)尾根の北側に北秋川、南側に南秋川が流れています。この南北秋川と両岸の山より流入する沢の分岐点に生じた、わずかな段丘状の平坦地に檜原村の集落は点在しています。小林家住宅は3本の尾根が交わる交通の要所に位置していて、尾根道を歩行移動していた時代を考えると、この立地環境には現代とは違う合理性があったものと思われます。

小林家住宅の活用

小林家住宅は、建築された場所にそのまま保存されており、山岳民家としてはとてもめずらしい存在です。重要文化財建造物としての建築的特徴をご覧いただくことはもとより、建物を活用した地域活性化拠点として、山間部の暮らしの追体験、山歩きと連動した立寄り場所やイベントなど、観光協会の企画事業、地元の団体との共同事業等公開と活用を行っています。



管理棟と展望デッキ

馬小屋と板倉



① オクデイ



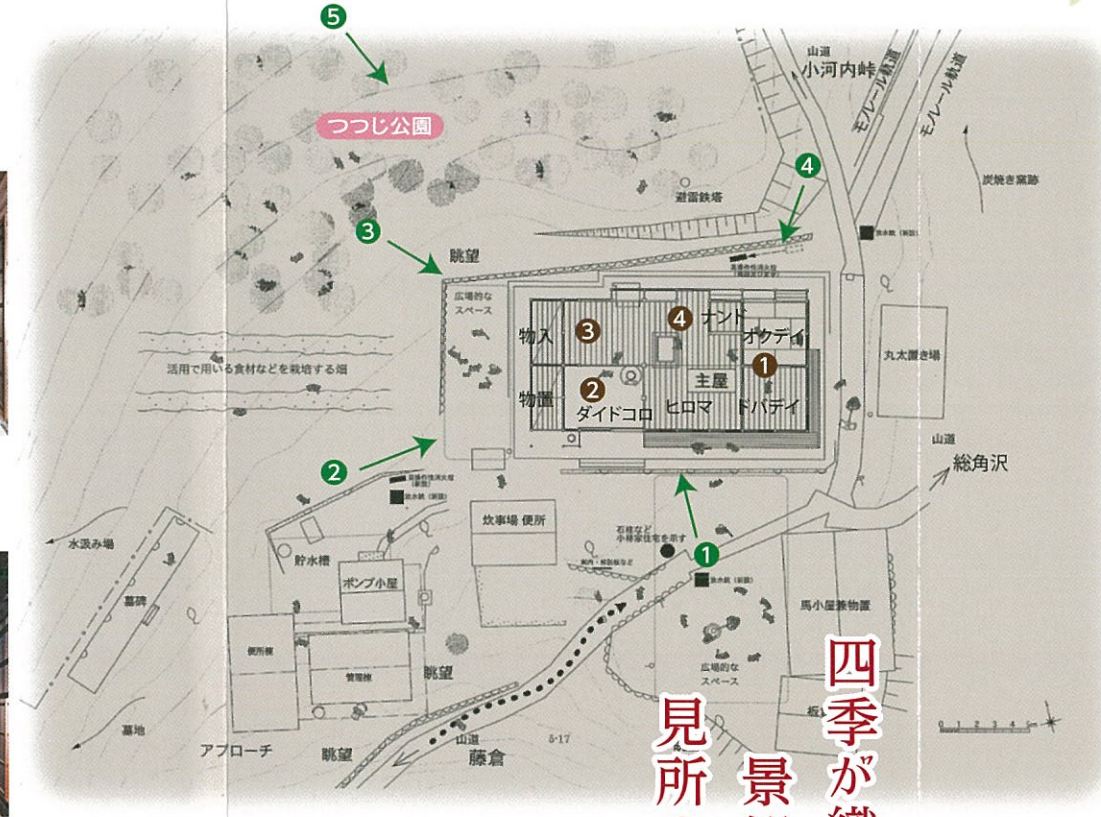
② ダイドコロ



③ ヒロマ



④ ヒロマ



四季が織りなす
見所のひとつ。
景観も



⑤ つつじ公園からの景観



① 正面(南側)



② 正面(西南側)



③ 背側面(北西側)



④ 背側面(北東側)